

牛久市教育委員会 10月定例会会議録

1. 日 時 平成27年10月19日(月)午後1時30分
2. 場 所 市役所分庁舎 第1会議室
3. 出席委員 後藤 雅宣・石井 美知夫・宮原 節子・芦田 亜里香・染谷 郁夫
4. 委員以外
の出席者 教育部長 川井 聡
次長 中澤 勇仁
教育総務課 課長 川真田 英行
指導課 課長 村松 美一
児童クラブ課 課長 山岡 勉
文化芸術課 課長 手賀 幸雄
生涯学習推進室 室長 田中 雅司
中央図書館 館長 栗山 雄一
スポーツ推進課 課長 木村 光裕
教育総務課 課長補佐 富田 真幸
教育総務課 課長補佐 戸塚 美幸
指導課 課長補佐 山口 明
生涯学習推進室 室長補佐 山越 義弘
スポーツ推進課 課長補佐 飯島 美博
スポーツ推進課 課長補佐 高橋 頼輝
5. 欠 席 第一幼稚園 園長 中村 恵子
文化芸術課 課長補佐 横瀬 幸子
6. 会議録署名人 教育委員 石井 美知夫
7. 議 題 議案第51号 牛久市図書館協議会委員の任命について
議案第52号 牛久市教育支援委員会委員の委嘱について
8. 協議事項 10月定例会の一般質問について
ひたち野地区の中学校建設について
公立幼稚園について

後藤委員長	(あ い さ つ)
	開会を宣言する。 会議録署名人 石井 美知夫 委員を指名する。
後藤委員長	それでは、議案第51号 「牛久市図書館協議会委員の任命について」、事務

<p>中央図書館長</p>	<p>局より説明をお願いします。</p> <p>議案第51号 「牛久市図書館協議会委員の任命について」 ご説明いたします。</p> <p>今回の議案は、牛久市図書館条例第4条2項の規定に基づき、黒木亘子氏を牛久市図書館協議会委員の任命について教育委員会の同意を求めるものであります。</p> <p>図書館協議会委員は、牛久市図書館条例第4条2項の規定に基づき、学校教育の関係者及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命しており、社会教育の関係者である教育民生常任委員会委員長が不在となっていたため1名欠員となっておりました。今議会において黒木亘子氏が教育民生常任委員長に任命されたため、牛久市図書館協議会委員に任命するものであります。</p> <p>ご審議のほどよろしく願いいたします。</p> <p>議案第51号についての質疑を受けるが質疑なし。 出席委員全員の賛成を得る。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>続きまして、議案第52号 「牛久市教育支援委員会委員の委嘱について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>指導課課長補佐</p>	<p>本委員会は、特別な教育支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対し早期からの一貫した教育支援を充実させるために調査、審議をする教育委員会の諮問機関となります。</p> <p>本案件は、市議会議員でありました諸橋太一郎委員の辞職に伴い、1名の委員の委嘱替えをするものであります。このたび新規に委嘱する方は、学識経験者としまして市議会教育民生常任委員長黒木亘子委員であります。任期は議決後から平成29年6月30日までとなります。</p> <p>ご審議のほどお願いいたします。</p> <p>議案第52号についての質疑を受けるが質疑なし。 出席委員全員の賛成を得る。</p>

後藤委員長

続きまして、協議事項に移りたいと思います。

「10月定例議会の一般質問について」、事務局より説明をお願いいたします。

教育部長

それでは、私のほうから10月定例議会の一般質問についてということで、先週、13日から3日間にわたりまして18人の市議会議員の皆様が一般質問をされましたので、その中から教育委員会に関するご質問をご紹介しますまいりたいと思います。少々お時間をいただきたいと思います。

今回の一般質問の特徴と申せるかどうかですが、やはりひたち野うしく地区の中学校建設についてということに対しての質問が18人中7名ということで、非常にたくさんの議員さんがやはり関心を示されていたと。これは当然、10月3日市長に就任されました根本市長の公約の一つということで、ひたち野うしく地区に中学校を新設するということから、その公約の確認というような意味で質問をされた議員さんが結構多かったかなという感じを持っております。

そのほかはいろいろありましたが、とりあえずざっとご紹介をしたいと思います。秋山議員につきましては、「ひたち野うしく地区への中学校建設」について具体的な構想を伺うというご質問の中で、これまで増築という対応をしていくといった理由の中で市の財政的な面があったはずだが、新設をすることによって山積しているさまざまな学校教育施設の整備計画がその計画どおり進むのだろうかというふうな疑問を呈していたということで、これは何人か同じような、増築に賛成をされていた議員さん方に関しては同じような質問がやっぱり若干出ました。その中で市長のほうの答弁としましては、子供たちの教育環境を一番に考えて新設を決めたと。新設をすることによって他にやらなくてはいけない教育施設の整備というものに変更は生じさせないというような答弁がありましたので、我々事務局といたしましても、これまでというか、今後行わなくてはならない教育施設の改修、更新等についてはこれまでの計画どおりに行っていくものだと思っておりますし、また、それにプラスして下根中の増築ではなくて新しい中学校の建設、ただし中学校建設までには時間がかかりますので、その間の生徒数の増加対策、これについては下根中に仮設校舎を建設して対応をしていくというような答弁をさせていただきました。

それから、秋山議員の2つ目の質問としまして、奥野小、牛久二中の生徒減少対策についてということで、ひたち野地区が今お話ししたように生徒数が増えているというのに対して、奥野地区は部活も自由にも選べないような減少傾向が続いているが、何らかの対策が必要だろうという質問がありまして、それに関しましては、この委員会のほうでもご報告をさせていただいております特に英語教育に力を入れて特色ある学校づくりということで、奥野地区全体でしっかりと特色ある学校づくりを行って、かつ、小規模特認校という制度を設けた上で、市内の全地域から奥野地区に来られるような体制をとっていき

いというふうな答弁をさせていただいております。

それから3つ目としては、せんだってありました大雨特別警報が発表された中で児童生徒の登校があったが、そのときの安全対策はどうだったかという質問がありまして、特別警報の出たタイミングと子供たちが通う、登校を始める時間に若干ずれといたしますか、若干子供たちの登校の開始が早くて、その直後に特別警報が出されたということもあって、学校の先生方も含めて校外に出て立哨指導などをしたということで安全は確保しているということ。それから、その決定は誰がするんだと、時間を遅らせたり休校の判断は誰がするんだということで、基本的には校長ではあるけれども、当然教育委員会のほうとも相談をしながら、教育委員会で主体的な決定もしていきますよという答弁をさせていただいております。

それから、2番目の石原議員に関しましては2点、1点目が義務教育の政治的中立をいかに確保するかという質問、それから2点目が学校給食用の食材にかかわる地産地消についてということでございます。政治的中立のお話は後で教育総務課の方から若干お話があるのでその時にといたしまして、学校給食の食材に係る地産地消についてということで、学校給食に食材を納入している業者の問題が若干と、市営市場との関係の中で業者を切ったという部分が実はございまして、その点についてのご質問がありました。市長のほうからは、学校給食の納入業者についてはなるべく幅広い業者さんが入られるような体制をとってほしいというような事前のお話もありましたので、その旨お答えをしているという状況でございます。

それから、柳井議員に関しましてはひたち野中学校の新設の問題、それから山本議員については運動公園における受動喫煙についてということで、受動喫煙の問題を若干捉えた中で、運動公園の利用者の中でそういうお話を聞いたということで、その対策はどうなっているんだということでご質問がございました。伊藤裕一議員についてもひたち野うしく地区の中学校問題、池辺己実夫議員に関しては高齢社会に伴う牛久市の生涯学習のあり方と取り組み方ということで、生涯学習講座の観点からのご質問がございました。尾野政子議員は児童クラブの利用料改定についてということで、児童クラブの短期利用者等の利用料金の設定などについてのご質問がございました。須藤京子議員についてはひたち野地区の中学校問題、杉森議員についても同じくひたち野の中学校問題、それから藤田議員については教育現場の課題ということで、不登校、暴力、小学生の暴力、新聞などにも最近出ていましたけれどもそういう問題、それから携帯電話の所持の関係に関する問題等についてのご質問がございました。遠藤議員についてはひたち野うしくの中学校建設、そして最後、利根川議員もひたち野中学校の新設の問題とこれまでの教育委員会の対応についてということで、増築という決定をしたことから今回の市長交代に伴う教育委員会としての新設への方向転換に対しての教育委員会としての対応の仕方、また、こういうふうな形になった部分の教育委員会の責任問題ということで厳しい質問が寄せられたという状況でございます。

そのほか、今回また請願文書ということで、ひたち野地域への中学校の早期新設を求める請願書ということで、ひたち野西3丁目20番地11、平野聡さん外191名から出ております。請願の趣旨につきましては、これはお手元に配付してあるように、平成30年4月の開校を目指した事務手続と建築計画に直ちに取りかかるとともに、教育委員会の人事刷新を図り、住民との対話に基づいた新設準備と教育内容の計画策定を進めることを求めるというような趣旨でございます。

それと、本日午前中ですが、決算特別委員会の方で現地視察がございまして、昨年度実施した事業の中で、牛久小の児童クラブ、それから中根小の増築と南中の体育館の耐震大規模工事、武道館の耐震大規模工事、この3カ所が現地視察ということできょう午前中に現場の方をご覧いただいて、その内容等の説明をしてきたところでございます。

今週は、この後、明後日に決算特別委員会、そして金曜日に教育民生常任委員会というような日程になっているところでございます。

私のほうから、ちょっと駆け足でしたけれども、一般質問についてということでご説明をさせていただきました。以上です。

後藤委員長

ありがとうございました。今の一般質問についてのご説明に関して質問等ございましたらお願いいたします。

宮原委員

ひたち野地区に関する今の数名の方の質問に対しての答弁はどのようなものなんでしょうか。

教育部長

大体ほぼ同じ答弁にはなったのですが、大体の方が先ほど申し上げましたように方針が変わったということの確認をしたいと。ほとんどが新設の賛成派の議員さんだったということもあって、根本市長が新設を公約に掲げて当選したということで、実際に本当に新設するんだろうかというような背景の中で質問をされたというふうに私のほうは感じました。基本的には、そういった民意を受けた市長が誕生したということもあり、また教育委員会としても、特に新設中学校以外の部分、いわゆる山積しているさまざまな教育施設の設備等の新設、更新というものに遅れが生じない、これは臨時の教育委員会でも後藤委員長からもありましたけれども、教育予算全体で削減されては困るというような部分もありましたけれども、そういったことをせずに並行して新設もやっていくんだという事前の調整事項がございましたので、そういうことであれば子供たちのよりよい教育の質の向上といった点で増築から新設に方向転換をすることで問題がないだろうということで答弁をさせていただいたような状況です。

宮原委員	<p>今の学校を建てることによって、山積する教育分野の問題・課題、それについては、予定どおり予算を導入してやるということですよ。</p>
教育部長	<p>はい。</p>
宮原委員	<p>その建設によって教育以外の分野、福祉、それからクリーンセンターとかそういうものへのお考えはどのようになっているのでしょうか。</p>
教育部長	<p>細かい部分への言及まではちょっとなかったんですが、ただ、答弁の中では、前池辺市政下において例えば購入した土地で現在使用していないもので使用する計画がないものなどは売り払ったり、また、前市政下における事業の優先順位、それから財源の配分を見直すことによって財源を生み出す。それから、今まではかなり起債というものを抑制しておりましたけれども、それについても若干起債を起こす、いわゆる借金をすることも考えていかななくてはいけないというような中で、やはり事業、教育以外の部分も、これまで非常に優先度が高かったものを多分低くしたり、たくさんお金を配分していたものを少なくしたり、もしくはちょっと先に延ばしたりというようなやり方を、組み替えをした中で予算を生み出していくというような市長の考えであるということが答弁の中でも確認できました。</p>
後藤委員長	<p>それでは、続きまして「ひたち野地区の中学校建設について」、事務局より説明をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>今部長の方からありました一般質問関係の答弁にも関連するんですが、そういった今回の議会の中で教育委員会としての方向転換を答弁した部分、また、それ以外の学校施設の整備の需要があるということもこれまでかなり訴えかけてきたものですから、そのあたりを一般の市民に対して何らかの形でお伝えする必要があるのかなということで、1つはホームページ程度で公表する必要があるかということでちょっと文案を作成してみました。読ませていただきます。</p> <p>「ひたち野地区の中学校建設について（おしらせ）」とあります。牛久市教育委員会。</p> <p>これまで、牛久市教育委員会としてのひたち野地区の中学校問題への基本的考え方は、財政的制約があるなかでひたち野地区以外の学校での耐震化や老朽化対策など、施設整備との財源配分に配慮し、下根中学校増築で対応する方法が現実的でベターな選択であると考えてまいりました。</p> <p>今般、中学校新設を公約のひとつに掲げた根本市長が民意を背景に誕生しま</p>

	<p>した。</p> <p>ひたち野地区の中学校問題に関しては、人づくりの観点から子どもたちの教育環境を最優先に新しい中学校の建設で対応していく方針であることと、建設コストの削減策や将来の生徒数減少を想定し施設の転用を念頭に入れた建設とすること、そして、ひたち野地区以外の学校教育施設整備も並行して計画に基づいて進めることなど、根本市長の方針を確認いたしました。</p> <p>このことにより教育委員会といたしましては、中学校新設への方針の転換を支持し、今回の方針転換がより良い結果となるよう中学校新設に向けて最大限努力してまいります。という案文を作成いたしました。</p> <p>こちらで検討していただいて、修正等あればご意見いただければと思います。ホームページ等での公表ということで考えております。</p>
後藤委員長	<p>これに対する質問、ご意見等ございましたら、お願いします。</p>
教育長	<p>「ひたち野地区の中学校問題に関しては、人づくりの観点から子どもたちの教育環境を最優先に財源配分を見直し」といった文言が最初の方に入っていないでしたか。</p>
教育総務課長	<p>答弁書ではたしか財源配分の文言が入っていました。</p>
教育長	<p>財源を見直して新しい中学校の建設を進めていきますというような話は、最初の秋山議員の答弁書の中にもありませんか。</p>
教育総務課長	<p>秋山議員の答弁の中では、ちょっとその部分を読み上げますと、「中学校新設に当たっては、財政的負担を必要最小限にとどめるとともに、人づくりの視点を重視し、市が実施を計画している事業全体での優先順位や財源の配分を考え対応してまいります」。</p>
教育長	<p>その部分が無いなと思います。</p> <p>市長さんが、私は人づくり、教育をもっと最優先に市の全部の事業の順番を入れ替えるんだとおっしゃっていました。その上で今までの事業プラス中学校をつくるよとおっしゃっています。</p>
石井職務代理者	<p>前文で「財政的制約」ということが入っているので、これに対して新市長の</p>

<p>教育長</p>	<p>方針として全体の見直しをするという言葉を受けた方がいいのかなという気がします。</p> <p>この件については、さらに、私たち5人で検討したいと思います。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>それでは次にまいります。公立幼稚園について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>続きまして、公立幼稚園についてということで、今、現在の第一幼稚園で出ている問題についてお話しさせていただきます。募集要項のほうを今お配りして入れておきました。市立幼稚園園児募集要項、こちらをご覧ください。</p> <p>これは両面印刷になっていますが、募集要項と書いてあるほうを仮に表としますと、その項目の9番をご覧ください。これまで教育委員会のほうでも問題点として何度か情報提供はしているかと思うんですが、「第一幼稚園にかかる園児募集について」ということで1つ注意書きを入れました。「第一幼稚園につきましては、平成29年4月入園にかかる募集の有無は未確定であることをご承知のうえ、お申込み下さい」。これは、これまでお配りして、きょうもお配りしてありますが、幼稚園の今後についてということで、教室の数を見ていただくとわかるんですが、平成28年で中根小が35教室使います。今現在用意されているのが35教室です。実際、中根小は40教室までいくんですが、残りの教室数というのは、幼稚園の建物の4教室とあと下の1階にある児童クラブの2教室、これを当てにしている41教室というカウントをしております。したがって、この35教室を超える37教室になる29年度においてはあの建物の中から2教室を捻出しないと足りなくなると、これはもう事実として見えてきております。そういった中で、今回の募集要項をどうするかということで、直接、今年入ったお子さんはもちろん卒園まで行けるんですが、申し込むに当たって、結局、上のお子さんを入れて、また下にも同じ幼稚園に入れたいとか、そういったもくろみをしていたお母さん方にご迷惑がかからないようにということで一応未確定という情報を入れました。</p> <p>これによりまして、第一幼稚園のほうで、園長のほうでも何回か受けているんですが、保護者の方からちょっと心配の声が出ているというのと、あと電話が数本かかってきております。あとメールが1件届いております。いずれも第一幼稚園の今後についてどうするかというものでございます。再来年の4月、29年の4月までにある程度の方向性なり、そこの教室の対策を練っていかねばならないということで考えております。今年の募集については、昨年は40、40で行っているんですが、20、20ということで、第一、第二とも減らして行っているのはおります。</p> <p>以上が、今、幼稚園に関する現状で、これから多分、議員等も注目している</p>

<p>教育長</p>	<p>方がいらっしゃると思いますので、議会等でも取り上げられていくのではないかと考えております。引き続きこれについて、次回、園長に出させていただいて、公立幼稚園としてのやっぱり民間とは違うものがあるのかどうかというあたりなどもお話をこの場でしていただく予定でおります。</p> <p>結局は、幼稚園をなくすのか、なくさないのか、1つにするのか、教育委員会の判断ですね。我々5人の判断が問われています。今までは私たち独自の判断が難しかったんですね。1つは、事務局からのデータが少なかったので私たちが判断するにも資料が足りませんでした。市立の幼稚園の園児の動向がこんなになっているというデータがある。そういうのがたくさんあって私たちは判断するべきだと思いますが、あまりここに上がってこなかったという現状もあったので、今後は事務局に話しまして5人の協議で決定できるようにしていきたいと思います。次回からはさまざまなデータごとに判断できるような資料と先生に来てもらって今後どうするかを検討していきたいと思います。いまは市立幼稚園も定員割れしています。民営圧迫じゃないかという話もあります。そういうもろもろの資料や状況を考えた中でこれからの判断になってくると思います。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>とてもわかりやすかったですね。</p>
<p>教育長</p>	<p>いくつかの問題は、また次の機会に検討させていただきます。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>じゃあ協議事項としてやらせていただきます。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>はい。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>牛久二小の保育園の関係でございます。こちら、この図面、若干動いてはいるんですが、同じようなものを前に一度ご覧いただいているかと思っております。牛久二小のほうに保育園を併設するという計画があるということで動いていた部分でございます。これについては、つつじが丘保育園の代替えというところも頭にあったかと思いますが、これについて実は牛久二小のPTA会長さんから連絡が入りまして、PTAのほうで、かなり前に市長が運動会でちょっとアナウンスはしたんですが、まだそれほど周知はされていなかったんですが、だんだんPTAの方でも伝わってきて、正直なところPTAとして余り賛成できないというか、どちらかというところと反対の姿勢だということでお電話がありまし</p>

て、先週の15日の夕方、PTAの役員の方と話し合いを持ってまいりました。あちらが会長さん、副会長さん以下8名、こちらは、メインは保育課になりまして、保育課とあと教育総務課、あと校長先生と教頭先生ということで、十数名で校長室のほうでまず概略をお話ししてきました。

PTAの役員の皆様からはやはり心配になることとして、これは子ども・子育て会議にも紹介したときに出ましたしこの場でも出たかと思うんですが、やはり駐車場の問題、これが非常にここは悪いという状況があって、さらに、保育園ということですので、車がとまった状態の車じゃなくて往来があるということ。送り迎えで往来があると。また、マナーが良い保護者ばかりならいいんですが、これが中が狭いので車があふれた場合に正門前なんか路上駐車される可能性がある。した場合に、体育館の脇の道は荃崎からの抜け道になっているということで交通の要衝であるということで、その車の問題でまず1点。

それと、建物の1階に保育園が入って、2階、3階が教室になることによって、これはこれまで入ってきた保育園は全て別棟という形なので今回が初めてのケースになるということなんです、そうした場合に、まずは運営が始まってからもやはり子供たちの泣き声、ゼロ歳児までいますので泣き声の問題、音などの問題、加えて工事期間中における工事騒音の問題ということで、これまでとは初めてのケースになるのでちょっと予測がつかないといったご心配が寄せられました。

中には、そもそもなぜ二小に保育園を入れることになったんだというそもそも論からご質問もあって、やはり既存の建物に入れることによって、つつじが丘を建て替えるよりは例えば2億5,000万かかるところが1億5,000万ぐらいで済むという経費的な問題等にも触れて保育課のほうでは説明しておりました。また、あるお母さんにおいては、PTAの誰に聞いてもどちらかという反対の声が上がっているという中でこれを変えてもらうには署名運動すればいいんですかというような質問もあったぐらいです。いずれの質問も役員の方とのやりとりですので穏やかなムードの中での話だったことには間違いはないんですが、やはりそれだけPTAの方はご心配を抱いているというところがあります。一旦その日は6時半から始まりまして8時40分ぐらいまでですから2時間10分ぐらいかなり熱心にいろいろやっておまして、全部聞き取った内容を持ち帰って内部でちょっとお話をさせていただくということで、改めてまた説明の機会なり聞き取りの機会を持ちますということで引き揚げてまいりました。牛久二小の保育園に関しては今そういった状況でございます。

主体的には福祉部の部分もありますが、ただ、やはりPTAからこういうお話が出ている中でやはり教育委員会としても何らか判断を、これまでは物理的には何とか入るといった中でそういった問題も一応クリアするというので保育課のほうでは言っていたんですが、やはりPTAの方の心配というのがかな

後藤委員長	<p>り出てきているというところを捉えてどういう意見を持つかということになってくるかと思えます。図面のほうはまだ今の段階の仮の図面ですが、圧倒的に駐車場が不足しているのは間違いありません。以上です。</p>
芦田委員	<p>これについてのご質問、ご意見等ございますか。</p>
教育総務課長	<p>牛久市の方針としてこれだけ地域との連携をとってということで地区社協ですとか地域の方々とどうたっている中で、ここまで話を進める上で地域の方への説明とか保護者への説明というのはなかったんですか、そういう機会は。</p>
石井職務代理者	<p>それなんです、ここまでという段階が、正直図面的には、これは建設部の人間が描いているのもう実施設計やっているような図面になっていますけれども、正直なところ職員がただ並べただけの図面なんです。ですから、今が多分話し合いを持つ段階じゃないかなと思われ。逆に言うと今がその時期で、PTAの方にも申し上げたんですが、きれいな図面ができていますけれども、これは別に実施設計が終わったわけでも何でもありませんから、本当の基本、通常ならば基本構想なり基本設計、ただ外注しませんので、担当職員が絵を描いてまずたたき台としてお持ちしている段階ですというお話をしてきた状況です。当然、学校とは夏ぐらいから学校の意見は聞きながら図面を動かしてきたところではあります。次の段階としてPTAなり、なんのりの説明が必要だということ考えていたところで、逆に向こうから先に心配の声が上がってしまったという状況です。</p>

教育総務課長	<p>地元というか、保育園課のほうで、じゃあ、つつじが丘の保護者に逆に説明をしてどういう反応が起きているのかというと、そこのところはまだだそうですね。これまで学校と併設するという方向の中で保育園自体がやってきたものですから、ここは正直条件が悪いのはみんな感じてはいたとは思いますが、何とかその図面を描き上げたものですからそれでいけるかどうか。ただ、やはり問題がちょっと、心配が出る。</p>
芦田委員	<p>そうですね。保育園つくる、つくらない以前から牛久二小は駐車場問題というのは小学校だけでもあったわけですから。</p>
教育総務課長	<p>周りにそういった場所が確保できるかというところ、1宅地、2宅地ぼろぼろ空いているところはあるんですけども、まとまってとめられるようなところはとてもない状況で、一番近いのが市場ぐらいしかないかなというような状況です。</p>
教育長	<p>つつじが丘の保育園はもう建物がだめだから動くわけですか。</p>
教育部長	<p>いや、違います。</p>
芦田委員	<p>つつじが丘保育園自体は、まだまだ保育園として使えるんですか。</p>
教育部長	<p>構造的にどうかというお話になるとちょっと難しいと思います。かなり建物自体古いので、耐震補強も保育園は、ほとんどしていないはずで。文科省所管の建物、学校施設は文科省から今年度中に全部終わらせなさいという通達があるんですが、厚労省から一切そういうのがないんです。ですから、正直何にもやっていないのが現状なので。</p>
宮原委員	<p>運営を社協に移行するという今までの流れと同じですね。</p>
教育部長	<p>そうですね。基本的には運営自体を社協運営に移してコストを削減するという。やはり、財政的な部分の考え方も大きいですね。</p>

宮原委員	<p>それが一番じゃないですかね。でも市長はかわったということ、したがって市長がどのように考えているのでしょうか。</p>
教育部長	<p>やはり財政が厳しいというのはこれは市長がかわっても状況は変わらないので、何らかのやっぱり財政……、行政改革という部分では、行財政ですね、改革というのが継続してやらなくちゃいけないという部分はあると思います。ただ、それが今具体的に根本市長がどのような手法を駆使してやるというふうになるのか、まだ我々も伺っていないような状況ですので、基本的にいいものはそのまま続けることにはなるとは思います、こういった、先ほどの中学校問題ではないんですが、子供の教育環境がちょっと悪くなってしまう、先ほど課長からもありましたが、今までの3園については別棟が完全に分離した形でできたので、子供たちの環境がそれをやったことによって著しく変化するというわけではないわけですが、今回の場合には同じ建物の中での話になりますので、ちょっとこれまでの3園とは考え方を異にしないと、今までと同じだということでは応じ切れないのかな。ですから、そういった部分の二小の子供たちに与える影響というものを教育委員会としては最優先に考えた上で異論を出すのか賛成するのかという部分ももちろんあるんじゃないかなというふうには感じてはいるんですが。ただ、かなり、きつきつ状態での設計をやっているのが事実なので、かなり厳しいなというのが正直なところですね。</p>
宮原委員	<p>教育環境はもちろんですけれども、環境的に交通、その辺は、どうなのでしょう。</p>
教育部長	<p>結局、子供たちの危険が今まで以上に増大するとなると保護者の皆さんの心配も大きくなっていくでしょうし、大きくなるということは学校に対する不信にもつながりかねないので、そういう影響を我々は一番考えなくちゃいけないのではないかなと。きょうも午前中、先ほど申しあげましたように牛久小学校の決算特別委員会の現地を見たときに、保育園の子供たちは大きな声で元気よく歌など歌ってくれるんですね。ですから逆に言うと、その2階、3階に子供たちの教室があるってどういうことなんだろうと考えてしまうとちょっと厳しいなというのが、これは私個人の考えですけども。窓を閉め切って、エアコンは入っているけれどもという。それから、やっぱりどうしても動線のぶつかりが怖いなど。</p>
芦田委員	<p>そうですね。そこですね。</p>

<p>教育部長</p>	<p>今のこの段階での計画ですと保育園児の入り口と小学生の入り口と同じ昇降口を使っているのですが、若干時間帯は違うとはいえ、ちょっとその辺も心配な点がありますし。だから、どうしても私個人としてはちょっと否定的に見たくなってしまうような計画なんですけれども。ただ、この改修をするに当たって、ついでに先生方のトイレを改修したりというのも実は計画していたので。二小の大規模改修をやったときに先生方の使うトイレは直してないんですね、予算の関係があって。そのままになっていて先生方から何とか直してという話も出ているものですから、そういうこともできればなというのも含めてちょっとやったんですけれども。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>これは協議事項ですから意見交換にとどめる形でよろしいんですか。何かここで結論というのがあるんですか。</p>
<p>教育部長</p>	<p>とりあえず今の段階で良いとか悪いとかという状況ではないと思いますが。ただ、PTAから中学校問題と同じように教育委員会はどう考えているのかと言われる可能性もあるので、いずれにしてもある程度協議していただいた上では、教育委員会としてはこのまま進めても良いと思うよとか、ちょっとこのプランについては賛成しかねますとかという、そういう結論が必要になる可能性はあると思います。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>これもこの後いろいろ情報交換と、委員会としての、民間人ですけどね、それぞれの立場から意見を出し合いながらここでの見解をまとめる作業をしていきたいと思いますけれどもね。</p> <p>以上で本日の議事及び協議は終了といたします。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>続きまして、教育長の報告をお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>ひたち野、おしらせという紙の後ろにさっきの請願なんかがあって、その後ろに教育委員会教育長に対する事務委任規則があると思います。この第2条のところに、教育委員会は、次の各号に掲げるものを除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。ということは、下にある1から20は教育長にその事</p>

務は委任しないんですよということです。私たち5人で決めていくんですよということがずっと書いてあります。その3番にも教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関することは教育委員会が決めるんだらうと、ここを強く議会でいつも指摘されているところなんです。そういった意味で改めて私たち5人の教育委員会が主体的に動かなくちゃならないなと思っています。そこで部長と各課長のほうに、判断は教育委員会が決めるんだからもの会議に様々な判断材料を上げてくださいますと言いました。改めて法律の確認というのをしていきたいなと思っています。

もう一つは教育大綱ですが、ちょうどタイミングよく今度、総合教育会議というものを開かなければならなくなります。これは公開ですからいろいろな方々見ている前で総合教育会議になると思います。近々我々5人と市長の話し合いをするようになると思います。主催は市長のほうです。そこで市長が大綱をつくるということでございます。

その市長がつくる大綱ってどんなものかというのが、今お渡ししました大綱関係の2枚目です。「大綱の主たる記載事項は、各地方公共団体の判断に委ね」というものですが、主として、学校の耐震化、学校の統廃合、少人数教育の推進、総合的な放課後対策、幼稚園・保育所・認定こども園を通じた幼児教育・保育の充実等は首長の大綱に載せられることが考えられますよというふうに書いてあります。何分公開、公表が前提ですので、よく考えながら段取りをしていかなければならないと思っています。以上です。

各課からの報告等がありましたらお願いいたします。

文化芸術課	牛久市民文化祭について うしく現代美術展について 小川芋銭に関する事業委託の契約破棄について
生涯学習推進室	平和の集いについて 牛久郷土かるた大会について
児童クラブ課	うしく土曜カップ塾について
指導課	いじめ問題専門委員会の開催報告について
教育総務課	教育委員会の政治的中立性の確保について
中央図書館	図書館だよりについて
スポーツ推進課	シティマラソンの申し込み状況について 奥野地区スポーツ交流会の駐車場について

それでは、以上で10月定例会を終了いたします。

後藤委員長

	<p>次回の定例会は11月16日月曜日、市役所分庁舎第1会議室で13時30分での開催となります。よろしくお願いいたします。</p> <p>どうもお疲れさまでございました。</p>
--	---